

今週のモーニングセミナー報告

令和4年4月27日(水)の講話 <第890回>

テーマ：会員スピーチ

講師：香川県東かがわ市倫理法人会 桑島 功 副会長・赤山 芳隆 事務長・中川 武雄 相談役

(松浦 清貴 会長) 運転免許の更新手続きを済ませてきました。違反者講習だったので120分の講習でした。引田のインター近くでスピード運転で警察の取り締まりを受けた。違反に対する罰金は一万五千元。あらためて、運転には気を付けましょう。

(桑島巧 副会長) 感動するお話でしたが～感想文は記載なしにしています。

(赤山 芳隆 事務長) 書道を習うきっかけ、また倫理法人会に入会して「秋津書道」を知り、創始者の「書道芸術」「丸山敏雄の書の世界」を読んで学んだことを話す。「<人の書をほめ、己の書愛せよ>愛する心はどうして出てくるのか。その第一番目の門は、これを見るということにあります。見てさえいけばいいのです。見ていけば必ずわかってまいります。わかってくれば、自然に愛が生じます・・・書に対する愛も書を見ることから出発いたします。・・・よいところを見つけて、これを伸ばそうとして、よくよく見ることです」(書道芸術)より説明させていただきました。

(中川 武雄 相談役) 会社の後継者の事。今年5月で入社4年になるSさんが社長として引き継いでくれる運びとなった。最初は家族の長男に継いでもらおうと考えていたが、本人の意向もあり別の道に進んだ。次男さん、長女の婿さんにも声を掛けてみたがそのようにはならなかった。会社のM&Aのお話も検討してみたが、会社の価値を一番知っているのは社長である自身だと思い、それも断った。後継者の問題は、自分の書いたシナリオ通りにはならなかったが、神様の書いたシナリオの沿って進んでいると受け止めています。17条の人生神劇の例話を語り今の心境を語られたのが印象的でした。

担当者：赤山 芳隆

(赤山さんのスピーチ)

初めてモーニングセミナーに参加した時に会員さんが小学生が本を読むように万人幸福の葉を輪読する光景を見てやばい会だと思った。創始者の丸山敏雄はいったいどんな人だろうと思い本を二冊買った。辞めれるのはいつでも辞めれると思い入会する。丸山創始者が文字を磨くことは心を磨くことという教えがある。秋津書道の芸術部の試験を受ける予定という事。赤山さんの講話してくれた人に送るメッセージ付きの達筆なハガキは倫理法人会ではとても有名です。熊田専任幹事のホワイトボードに記入する文字も最初に比べるとまったく違う文字になってきて気持ちがこもっている事。やはり字は大切だと改めて思いました。

(中川さんのスピーチ)

後継者が出来たこと。モーニングセミナーにも参加していたSさん。ハローワークで募集して入社してきた経緯。H&Hの新事業の立ち上げ、商品づくり、東京への展示場への同行。話をしていると共感できることがあり会社の引き継ぎの話をしたこと。社内にも社外にも通知する。後継者ができると周りにも安心感もある。本来は子供に継いでほしい考えだった。長男は入社して半年で退職、現在は中学校の教師をしている。次男も引き継いでくれず、長女の夫も引き継ぎをしてくれなかった。M&Aも検討した。自分の子供に継がせたいのは親のエゴ、嫌がる子供が無理に事業を引き継いでも難しい事。やはり人にはそれぞれの人生があり、自分の人生は自分で決めていく事なんだと思いました。人間が伸びるのは75歳から85歳という言葉が好きだと話されました。やはり前向きな気持ちが大切なのだと思います。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは5月11日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「九星気学風水で読み解く 2022年(は)どんな年?~あなたの大事なテーマ~」と題しまして香川県高松東倫理法人会 会員 管東 佑衣子様 の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 15 社 15 名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp